

2013年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	経営ビジネス学科						
科目名	税務会計						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	3年		
必修・選択の別	選択						
担当者	成宮哲也						
授業の到達目標 (シラバスから)	会計実務というのとはどのようなものかを理解する。法人税法会計で中心的課題である企業利益と課税所得の関係について理解する。租税法主義、確定決算主義といった租税法上の基本的思考が、課税所得計算にいかに関わっているのかを習得する。法人企業の課税所得の計算および法人税額の計算ができるように講義する。						
内容	4月 9日 4月16日 4月23日 4月30日 5月 7日 5月14日 5月21日 5月28日 6月 4日 6月11日 6月18日 6月25日 7月 2日 7月 9日 7月16日 7月23日	第 1回: 導入講義: 授業の進め方と概要の説明、成績評価法 第 2回: 租税法の基本原則(租税法主義など) 第 3回: 租税法の基本原則(課税要件など) 第 4回: 租税法の基本原則(法源など) 第 5回: 法人の本質観(法人擬制説、法人実在説)など 第 6回: 法人税法の課税要件(納税義務者など) 第 7回: 所得金額・法人税法22条 第 8回: 所得金額・公正処理基準など 第 9回: 所得金額計算の手続など(確定決算主義など) 第10回: 所得金額・益金の額など 第11回: 所得金額・損金の額など 第12回: 益金の額・損金の額と計上時期 第13回: 交際費 第14回: 資産の評価損益 第15回: 定期試験(60分) 第16回: 定期試験の講評と消費税の説明					
成績評価基準	定期試験(70%)、レポート(30%)						
授業到達目標の達成度	到達目標に到達しない学生が数としては多かったが、しかし普段の授業に着実に取り組んでいる学生の多くは、目標を達成した。						
反省点	前年と同様のレベルで講義を行ったが、関心をもってもらえるようにさらに工夫したい。						
来年度の計画	具体的な事例を端緒にして説明するように試みたが、さらに工夫したい。それと税制改正の話題はできるだけ紹介するようにしたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	昨年度同様に、難しかったとの意見も見うけられたが、一方で興味をもつことができたとの意見もあった。この科目の単位取得者に対する社会の期待を想定しながら、レベル設定を考えているが、内容的には難しかったところもあるかもしれない。復習を期待したい。						
履修登録者数	47名	定期試験 受験者数	37名	合格者数	22名	合格率	59%